

## 3つのアスタリスク

川 島 恵 美

昨年(2006年)の5月26日に「ほっとけない世界の貧しさ」キャンペーンが始まり1年が経過しました。このキャンペーンは、世界の貧困問題の緊急性を訴え、政府に対し、いくつかの政策の変更を求めるというものです。このキャンペーンはGlobal Call to Action against Poverty(G-CAP:2005年1月発足)の一環として世界90カ国以上の1億5000万人の仲間がそれぞれの国の政府や国際機関に対して様々な働きかけを行っています。という説明よりも、むしろ「ホワイトバンド」と言った方がピンと来る人が多いかもしれません。昨年の夏頃、腕にシリコン性の白いリストバンドを身につけている人をたくさんみかけました。大手の本屋やコンビニのレジ横に置かれたホワイトバンドを目にされたことがあるかと思います。このバンドには3つのアスタリスクが刻まれているのですが、これは「3秒」を意味します。貧困のため、食べるものがなく、汚染された水や住環境の影響で3秒に一人、子どもが亡くなっているという事実を象徴したものです。1分間に21人の子どもが5歳を迎えることなく亡くなっています。つまり、このホワイトバンドを身につけることは「貧困をなくす政策をみんなで選択する」という意思表示の証となるもので「世界から貧困を無くしたい!」という思いを表すことになります。

このホワイトバンドキャンペーンは、あっという間に広がりを見せました。貧困問題という、とてもシリアスな、できれば目をそむけたい、自分とは関係ない遠い世界でのできごと...と考える大勢の人たちに対して、そうした課題をもう少し身近な所に感じてもらう作戦として大変成功したものだと思います。とはいえ、単なるファッション、かっこいいアクセサリー、今時流行りのおしゃれなイベントで終わるという限界も同時にはらんでいます。

私たちが持たなければならないのは、感受性であり、想像力です。このバンドのアスタリスクの意味する餓死して行く子どもたちと自分が、同じこの地球上に共にあること、私たちのあずかり知らない遠い世界で起こっていることではなく、自分たち一人ひとりの生活や行動とつながっている...大げさなことではなく、日常のごくささいなことが、シリアスな問題の解決とつながっていることをイメージし、そのための行動をクリエイトすることが求められているのです。

(社会学部専任講師)